

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	多発性骨髄腫における染色体数異常と遺伝子異常、予後の関連について
研究責任者	野村 萌
研究機関名	日本赤十字社医療センター 血液内科
研究目的と意義	<p>多発性骨髄腫（multiple myeloma、以下 MM）は白血球の一つである B 細胞という血液の細胞からできる形質細胞という細胞ががん化し、骨髄腫細胞に変化して増え続ける血液のがんの一つです。MM では骨破壊による骨折や高カルシウム血症、腎機能障害、貧血、免疫低下による易感染性などの特徴的な症状をきたします。</p> <p>また、人間のすべての細胞には 23 対 46 本の染色体という遺伝情報の発現と伝達を担う生体物質が入っていますが、MM の場合多くの患者さんで染色体数の異常が検出されることが知られています。特に染色体の数が少ない異常では予後が不良となるといわれており、本研究では MM 患者における染色体数の異常とそれに関連する遺伝子異常および予後について明らかにすることを目的としています。</p> <p>当センターにおける MM 患者さんの診療データを検証することで、染色体数の異常の有無による治療経過の違いなどを明らかにし、今後の診療に役立てていきたいと考えています。</p>
研究方法	<p>対象は 1987 年 4 月から 2018 年 9 月の間に多発性骨髄腫と診断され、当センターの電子カルテで初期治療から経過を追うことのできた方です。診療上の必要性をもって行われたこれまでの検査結果や診療録の内容を元に、患者さんの臨床所見、治療経過を後方視的に解析します。なお、研究結果は学会や論文で発表される可能性があります。</p> <p>倫理的配慮：解析は、個人情報の保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、患者さんの情報は匿名化されます。上記対象に該当する方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：野村 萌 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>